

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 9 月 14 日 (16:00~17:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	8	3	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	0	10	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	5	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>サービス利用開始前にケアマネジャーを主体に、ご利用者やご家族から得た情報やニーズを把握し、できるだけ要望に寄り添える支援を職員全体へ共有できるようにフェイスシートなどに記載してきた。</p> <p>サービス利用初回日には、ご利用者の不安な気持ちを和らげられるように、職員とゆっくり話を聞く時間を作り、ご利用者の好きなことなど多く知れるようにしながらも、程よい距離感を保ちながら寄り添うように関わっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>主にケアマネジャーが情報の収集やご家族との話し合いを行っている為、職員がご家族と直接会って話をする機会は少ない。さらに、ご家族が遠方の方も多く、話し合いの機会に職員が同席できていない事もある。職員は担当者制をしていて、担当のご利用者以外の情報は書面での確認になるので、職員全体で共有できていないか不安に思う。職員の介護経験数なども個人差があるので、慣れない環境で過ごされているご利用者の気持ちになって職員全体が支援できているか不安に思う。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>介護の経験年数の個人差はあるものの、事業所として新任職員へ「ご利用者やご家族の気持ちになって支援の方法」も指導していく。</p> <p>さらに、事業所だけではご利用者の在宅生活を支援するのは困難なため、地域住民、社会資源を活用しながらも、ご家族は役割分担として重要になってくるので、話し合いの機会に参加してもらい、担当職員も同席のもと会議を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 14 日 (16:00~17:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	8	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	7	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	7	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に 1 回カンファレンスで必要事項は職員に周知している。さらに日々の何気ない会話の中からご利用者のやりたいこと、できることを見つけ出して評価しながら、ご利用者の状況や生活歴などに合わせて計画書の作成・変更や目標を立てて支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員はご利用者の目標をすべて理解してしないため、日々の関わりに繋がっているかわかっていない。さらに、実施した内容の良かったことについての話し合いはあるが、ご利用者が嫌がったもの、やってみてだめだったものの情報が少ない。ご利用者自身も目標を理解していないこともあり、ご利用者というよりご家族の目標になっている。ご利用者自身が新たな目標「～したい」を見つけられないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
高齢者の意欲低下も配慮し、日々の関わりの中からの目標「～したい」を見つけ出す職員の話しかけの工夫を行って計画書 (プラン) 作成の参考にする。そして評価の内容が職員の一方的な関わりだけにならないように、ご利用者が十分に満足した支援を受けられているかをご自身で話し合う場 (担当者会議など) へ参加していただく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 17 日 (16:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	6	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	10	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	7	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	11	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者のその日の体調に合わせた日常支援はできている。食事形態などもひとり一人に合ったものを職員で話し合い提供している。さらに、時間を決めて日勤リーダー職員を中心に当日の確認事項や注意事項を勤務職員で行っている。 職員全体での共通の情報収集の方法として、申し送りノートや報告書を活用し、業務前に事前に把握している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者の現在の状況をみて支援していて、フェイスシートやご本人からお話を伺うことがあっても、「以前の暮らし方を10個以上」と言われると登録者全員の把握が難しい。 ご利用者の言葉にしない気持ちの部分を感じることがあっても、チームとして言語化が不十分で共有できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 今までの情報収集の方法は継続しながらも、職員全体で在宅生活(生活環境)を支援していく上で、さらに必要な情報をセンター方式など活用しながら、定期的に把握していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 17 日 (16 : 00～17 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	6	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	7	3	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者のこれまでの生活スタイルや人間関係は利用開始時にご利用者やご家族から事前把握はしているものの、職員との日々の会話の中からも不安や心配なども含めて理解できるように努めている。
さらに、送迎時や訪問に伺った際にご家族ともコミュニケーションを図り、何気ない会話の中から把握できるように努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者やご家族と地域との関係性はケアマネージャー、管理者を中心に行ってきたため、職員が直接係ることはほとんどない。地域資源を十分に把握できているか不安に思う。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
事業所は地域資源や民生委員などの情報を収集し、ケアマネージャーと担当職員を中心に、ご利用者にあつた資源の活用に努め、ご家族を含めた介護者全体で周知していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 18 日 (16 : 00～17 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	4	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	10	1	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	9	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	11	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出来る限り在宅生活が継続できるように、ご利用者やご家族のニーズに応じて職員間で話し合いを行って、必要なサービスを提供している。さらに事業所だけでなく、訪問看護や配食サービス、ふれあい支援などを活用して、ご利用者の安否の確認なども行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者とご家族とのニーズの違いが生じることもあり、ご利用者の希望するサービスの量になっておらず、会話の中からご利用者の訴えが聞かれても、言語化して記録に残っていないこともあり活用できていない。
状態が安定しているご利用者への関わりや変化を見つけ出す機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ご利用者の変化や状態にあったサービスを支援していきながら、地域の資源も把握し活用していくことを、ご利用者に関わる介護者と話し合う機会を設けていく。
事業所は職員へ、読み返して評価したり、計画書に反映できるご利用者の声を言語化し、記録の残し方と重要性をさらに勉強していく機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 18 日 (16 : 00～17 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	3	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	3	6	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	6	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	5	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>より良いサービスを提供してくために、訪問看護や福祉用具、包括支援センターとも連携をとって情報交換を行っている。事業所の行事には地域の方にも参加をしてもらっている。回覧版も回ってくる。管理者を中心に、近隣の小規模多機能型居宅介護施設へ職員も見学に向っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>事業所での行事（避難訓練、ちまき作り、納涼祭など）を開催して参加をいただいているが、地域の行事（クリーン作戦、運動会）などには参加できていない。 事業所が開催する運営推進会議での区長や民生委員、包括支援センターが参加はあったが、町内会の会議等に参加することはない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>ご利用者の在宅生活を支えていく上で、地域の方との連携は重要になってくるので、より良い環境作りと緊急時にもスムーズに対応できるような関係を保つためにも、地域の行事にも参加していく。 さらに、運営推進会議を活用して「地域で困っている事や、事業所への要望」を伺う機会にもしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 21 日 (16 : 00～17 : 00)

7. 運営

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	3	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	4	5	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	4	9	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職員間で意見を出し合っご利用者が過ごしやすい環境づくりについて話し合っている。さらに、ご利用者やご家族からの意見や要望、苦情なども、発生時に今後の対応策も考えながら話し合う機会を設けている。</p> <p>運営推進会議に区長や民生委員、包括支援センターなどに参加していただいている。来迎寺の民生委員が 7 名ほど施設見学を兼ねて来所されたので、施設の概要も一緒にお話しをし、希望があればいつでも見学や説明をさせていただくことを伝えた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>運営推進会議に参加していただいているが、地域の方から意見などを設ける場は少なく、行事を行っても参加者などからアンケートなどで意見を伺うことはしていない。</p> <p>地域との連携の際には、管理者やケアマネージャーが主に関わっているので、職員が直接意見を聞く場はない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>施設の行事を行う際には、回覧板などで開催の要項を閲覧してもらえようとし、開催時にはアンケートで次回の開催に向けて日時や内容について検討を行っていく。</p> <p>ご利用者やご家族からの意見や要望、苦情にはすぐに対応できるように、職員へマニュアルの確認を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 21 日 (16 : 00 ~ 17 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	1	3	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	2	4	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	7	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	3	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>年度初めに事業所として必要な研修の計画を立てて参加を促している。さらに、職員のスキルアップのために外部の研修にも参加し、参加した職員による内部研修を行っている。職員の定例会議を活用し、毎月職場内での問題点や介護を行う上での共通認識 (介護技術や記録の方法、レクリエーションの取り組み方など) を図る研修会を行っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>長岡市主催の研修会には、主に管理者やケアマネージャーが参加しているため、職員が参加することはない。越路地区の地域連絡会などの研修会は近年あまりない。 ご利用者やご家族に対するリスクマネジメントは「ヒヤリハットや事後報告」の書類等で行ない、職員間で話し合いのもと対策をとっているが、検証して活かしているかは不安に思う。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所は職員へ、個人のスキルアップと意欲向上に向けた研修への参加を促し、継続して内部研修で同じ知識をもってチームでケアしていく重要性を話し合う機会を設ける。 さらに、パートの職員への外部研修の機会が少ないので、研修期間や時間などで拘束される時間の少ない研修の参加を促していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 21 日 (16 : 00～17 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	3	1	0	11
②	虐待は行われていない	8	3	0	0	11
③	プライバシーが守られている	6	3	2	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	7	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	8	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報 that 特定できるものは施錠できるロッカーで保管している。 玄関の施錠はなく、いつでも誰でも出入りができる。(夜間は施錠している)。 ベットに柵はあるが、拘束のためでなく、起き上がりや立ち上がりの際に活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所としてもマニュアルはあり、身体に係る虐待の発見や通報は行っていたが、介護者の言動での通報の判断は難しく、虐待に対する勉強会が不足している。 ご利用者の行動の抑制を行う「スピーチロック」が拘束の中に入ることを職員間で話し合えていない。 成年後見制度の理解不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束や虐待、成年後見制度などの外部研修への参加。 外部研修が少ないので、特に「身体拘束や虐待」に対する定期的な内部研修を行っていく。	